

在校生代表送辞

朝夕の空気に、少しずつ春の気配を感じる季節となりました。
本日、卒業式を迎えられた卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。
在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

三年間という時間は、振り返ると短く感じられるかもしれません。
しかし、先輩方がこの木更津総合高等学校で積み重ねてこられた日々は、
確かに今の学校の姿を形づくり、私たちの歩む道を照らしています。

私たち在校生にとって、先輩方は「前を走る存在」でした。
行事や部活動で迷ったとき、どう動くべきかを言葉ではなく、
行動で示してくださったのが先輩方でした。

真心祭では、結果や勝敗以上に、仲間と向き合い、全力で取り組む姿が強く印象に残っています。
声を張り上げて応援する姿、思い通りにいかなくても最後までやりきる姿から、
私たちは「本気で向き合うことの意味」を学びました。

また、進路に向き合う先輩方の姿は、将来を考え始めた私たちにとって大きな励みとなりました。
自らの選択に責任を持ち、目標に向かって努力を重ねる姿から、
一步踏み出す勇気を教えていただきました。

先輩方が本日この学び舎を旅立たれるにあたり、寂しさが胸に広がります。
しかしそれ以上に、先輩方から受け取った数々の教えや想いを、これからの学校生活の中で確かな形にしていきたいという強い決意が胸にあります。

これから先輩方は、それぞれの場所で、新たな物語を紡いでいかれることと思います。
この学び舎で過ごした日々が、ふとした瞬間に背中を押してくれる、
そんな存在であり続けることを願っています。

最後に、卒業生の皆さまのこれからの歩みが、希望に満ちたものとなりますよう心よりお祈り申し上げます、送辞といたします。

令和8年3月3日
在校生代表 北野琉翔